

施策名：結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進

事業名	担当課・室名	ページ
おおいた出会い応援事業	こども未来課	1 / 5
不妊治療費助成事業	こども未来課	2 / 5
周産期医療体制推進事業	健康づくり支援課	3 / 5
小児救急医療体制整備推進事業	医療政策課	4 / 5
子ども医療費助成事業	こども未来課	5 / 5

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	おおいた出会い応援事業		事業期間	平成27年度～平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	若者の多くは結婚を希望するものの「適当な相手と出会えない」との理由から、未婚化、晩婚化が進んでいる。若い世代の結婚への希望を実現するため、広域的な出会いの場をつくとともに、県民総参加で若者の婚活を応援する機運醸成が課題となっている。	事業の目的	若い世代の結婚や子どもについての希望を叶えるために、広域的な出会いの場を提供するとともに、出会い・結婚に関するポジティブキャンペーンを実施する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①九州・山口連携による結婚・子育てポジティブキャンペーン 結婚等のプラスイメージを醸成するための動画制作及びテレビ、映画館、Youtubeでの放映 委託先：(株)総広(動画制作)、(株)電通九州大分支社(動画放映)	①	13,273	総コスト	39,514	24,437	35,615
②広域的な出会いの場づくり 県内外から結婚を希望する若者の参加を募り、様々な内容の婚活イベントを実施(年7回) 委託先：(株)大宣	②	3,000	事業費	32,514	17,437	28,615
③「おおいた婚活コーディネーター」による企業への結婚支援の働きかけ 企業訪問による結婚応援宣言企業の普及や企業間婚活イベント、ライフデザイン講座の開催支援 委託先：(株)大宣	③	2,701	(うち一般財源)		7,460	14,308
	④		人件費	7,000	7,000	7,000
	計	18,974	職員数(人)	0.70	0.70	0.70

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	「OITAえんむす部」ポジティブキャンペーン実施回数(回)	目標値		705	498	491			70%	結婚支援の働きかけを行った企業数(社)	目標値	200	200		
実績値			1,291	878			実績値	201			209				
達成率			183.1%	176.3%			達成率	100.5%			104.5%				
広域的な出会いの場への参加者数(人)		目標値		280	200	480		16%	目標値						
		実績値		310	449				実績値						
		達成率		110.7%	224.5%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
出会い・結婚に関する支援を実施している市町村数(市町村)	目標値		12	14	16		a	市町村や民間団体等、県内の婚活支援団体を対象とした情報交換会を実施し、県外専門家による助言や婚活支援に取り組む団体の事例発表等、結婚支援をするために必要な情報やノウハウ等を共有した。
	実績値		18	18				
	達成率		150.0%	128.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 企業、団体等の結婚支援への参画に向けた取組促進 若者等の結婚・子育てに関する前向きな機運の醸成及び市町村、民間、地域等の様々な場面での出会いの場の創出 	今後の事業方針 ・出会いサポートセンターを設置し、1対1のマッチングや、市町村と連携した広域的な婚活イベント等を実施することにより、結婚を希望する独身男女の出会いと結婚を支援 ・九州・山口各県と連携した結婚・子育てポジティブキャンペーンの実施、メールマガジン「あかい糸めーる」を活用した市町村、民間等の婚活イベントに係る広報を支援				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	不妊治療費助成事業		事業期間	平成15年度～平成 年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
					施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課	評価者	こども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	若年層を中心に、経済的な理由で高額な特定不妊治療に踏み込めない夫婦が多い。	事業の目的	子どもを生みたい人が産める環境を整備するため、特定不妊治療を行った夫婦に対し助成する。
-------	---------------------------------------	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①不妊治療費助成 特定不妊治療を行った夫婦に対する助成 【助成実績(大分市を除く)】 H27 589件 H28 617件 H29 517件 ②妊活推進啓発事業 短大や専門学校、企業などに出向き啓発講座を実施(10回)	①	207,837	総コスト	186,145	161,861	240,519
	②	314	事業費	181,145	156,861	235,519
	③		(うち一般財源)	83,090	64,663	127,931
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	208,151	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
			目標値	実績値	達成率					目標値	実績値	達成率			
特定不妊治療の補助・助成市町村数(市町村)	目標値		18	18	18		100%								a
	実績値		18	17											
	達成率		100.0%	94.4%											
出前講座実施回数(回)	目標値		12	14	14		0%								a
	実績値		12	10											
	達成率		100.0%	71.4%											

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
特定不妊治療の助成件数(件) ※件数増目的でないため目標未記入	目標値		617	517			a	高額な不妊治療費を保険適用と同様の3割程度の負担となるよう助成金を拡充することで、不妊治療に伴う経済的負担の大幅な軽減が図られ、子どもを生みたい人が生める環境づくりが促進された。
	実績値		617	517				
	達成率		100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 助成制度の周知 助成効果の測定方法の検討 若年層に対する妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 助成制度の更なる周知と利用促進を徹底 助成効果の測定と検証を行い、必要に応じて助成内容の見直しを実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	周産期医療体制推進事業		事業期間	平成22年度～平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	健康づくり支援課	評価者	健康づくり支援課長 藤内 修二	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	不採算部門である周産期母子医療センターの医療体制の維持及び全国平均より高い水準にある周産期死亡率の改善が課題である。	事業の目的	医療体制の維持を図るため、周産期母子医療センターの運営費を補助する。 周産期死亡率の改善を図るため、死亡症例の調査・検討する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①周産期母子医療センター運営費補助(大分県立病院、アルメイダ病院、中津市民病院) 周産期センターの人件費、材料費等に対する補助	①	34,622	総コスト	72,000	29,709	39,626
②新生児担当医手当補助(大分県立病院、大分大学医学部附属病院、アルメイダ病院) 新生児担当医師手当に対する補助	②	1,100	事業費	69,000	26,709	36,626
③周産期医療協議会等運営事業 周産期医療協議会の開催(1回)、同協議会専門部会の開催(2回) 周産期死亡症例検討会の開催(3回)	③	692	(うち一般財源)	20,840	597	694
	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計	36,414	職員数(人)	0.30	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価	
	運営費補助を行った施設数(施設)	目標値		3	3	3			95%	死亡症例検討数(件)	目標値	30	41			31
	実績値		3	3			実績値	30			42					
	達成率		100.0%	100.0%			達成率	100.0%			102.4%					
新生児担当医師手当への補助を行った施設数(施設)	目標値		3	3	4		3%	目標値								
	実績値		3	3				実績値								
	達成率		100.0%	100.0%				達成率								

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
周産期死亡率(出産千対：5年平均) ※全国平均値以下を目標とするため、目標値未記入	目標値		3.7	3.5			a	周産期死亡率は年によって大きく変動するものの、周産期母子医療センター等への継続的な補助等により、概ね低減傾向にある。 直近15年間の5年平均推移 5.0(H14-H18) → 4.4(H19-H23) → 4.0(H24-H28)
	実績値		4.0	3.8				
	達成率		91.9%	91.4%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 周産期医療体制の維持 周産期死亡率の改善 	今後の方向性	終了 <input type="radio"/> 継続・見直し <input checked="" type="radio"/> 例外的に継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き補助事業等を実施し、周産期医療体制を維持 周産期医療協議会等と連携し、周産期死亡症例の検討を進め、産科医療機関への情報提供を推進

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	小児救急医療体制整備推進事業		事業期間	平成 15 年度 ~ 平成 年度		政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～
				施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	医療政策課		評価者	医療政策課長 西永 和夫

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	小児科医の不足や地域的な偏在があり、地域の実情に応じた体系的、効果的な小児救急医療提供体制の整備が求められている。	事業の目的	子どもを安心して生み育てられる環境づくりを推進するため、体系的で効果的な小児救急医療の体制を整備する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①小児救急医療提供体制の整備 効果的な小児救急医療提供体制を整備するために、小児救急電話相談の実施や休日・夜間に小児救急患者を受け入れる医療機関に対して運営費の助成を行う。	①	92,632	総コスト	90,704	92,369	94,753
	②		事業費	87,704	89,369	91,753
	③		(うち一般財源)	3,249	2,993	3,597
	④		人件費	3,000	3,000	3,000
	計		92,632	職員数(人)	0.30	0.30

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	小児救急医療体制整備日数(日)	目標値	365	365	365			100%	小児救急医療体制整備日数(日)	目標値					
	実績値	365	365					実績値							
	達成率	100.0%	100.0%					達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
小児の重症患者を受け入れる二次救急医療体制が整備された小児医療圏の割合(%)	目標値	83	83	83			a	小児救急患者の受入体制整備や小児救急電話相談実施により、保護者が安心して子育てができる環境の整備が図られた。
	実績値	83	83					
	達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・小児救急医療体制の維持	今後の事業方針 ・子どもを安心して生み育てられる環境整備を引き続き推進				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成30年度)

事業名	子ども医療費助成事業	事業期間	昭和48年度～平成 年度	政策区分	一人ひとりの子どもが健やかに生まれ育つ社会づくりの推進 ～子育て満足度日本一の実現～	
				施策区分	結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援の推進	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	子ども未来課	評価者	子ども未来課長 御手洗 洋子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	子どもを育てやすい環境の整備のひとつとして、子どもが病気の時にいつでも受診できるよう子育て家庭の経済的負担の軽減が求められている。	事業の目的	子どもの傷病の早期受診と治療の促進を図るため、子どもの医療費(未就学児は入院、小学生～中学生までは入院)を助成する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①子ども医療費助成 子どもの医療費助成を実施する市町村への補助(全18市町村)	①	986,085	総コスト	974,035	933,998	965,109
	②		事業費	972,035	931,998	963,109
	③		(うち一般財源)	972,016	931,998	963,109
	④		人件費	2,000	2,000	2,000
	計	986,085	職員数(人)	0.20	0.20	0.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	補助市町村数(市町村)	目標値	18	18	18				100%	目標値					
	実績値	18	18					実績値							
	達成率	100.0%	100.0%					達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
市町村が助成した件数(件) ※件数増加が目的でないため、 目標値未記入	目標値		90,020	87,798			a	医療費の助成により、子どもの保健の向上と子育てに伴う経済的負担の軽減が図られ、子どもを安心して生み育てられる環境づくりが促進された。
	実績値		90,020	87,798				
	達成率		100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・無料化によるコンビニ受診、病院のはしごによる医療費の増大や地域でばらつきのある小児医療体制整備への対応	今後の事業方針 ・子ども医療費に対する助成事業は、全国全ての市区町村で実施されていることから、国において制度化が必要という考えのもとに制度創設を要望				